

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	4MF-2201
研究課題名	沿岸海洋生態系の保全・再生における緩衝植生帯の役割の評価と活用技術の開拓：サンゴ礁の再建に向けた事例研究
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	東京大学
研究代表者名	宮島 利宏

1．評価結果

評価ランク：S

2．委員の指摘及び提言概要

サンゴ礁生態系劣化に対して、沿岸植生帯の緩衝機能の評価に注目し、その機能を定量的に実証した点は、環境政策への大きな貢献として高く評価できる。具体的には、沿岸植生帯が環境改善機能などによりサンゴ礁保全に果たす役割を実証的に明らかにしたこと、また、統合モデルのシミュレーションによって、藻場とサンゴ礁とを一体的に、かつ定量的評価を行ったことなど、新規性が高く、その成果は注目に値する。今後は植物プランクトンの動態と陸域からの窒素供給の評価、ブルーカーボンの炭素の蓄積の観点、OECMなどの視点もふくめて研究を発展させてほしい。